

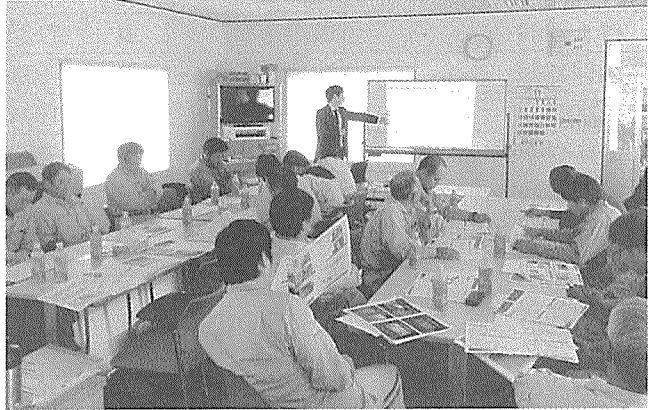
工期短縮に期待

橋梁補修補強技術講習

オリエンタル白石
ナカボートテック

オリエンタル白石とナカボートテックは16日、天城町の徳山建設会議室で橋梁の補修補強に関する技術講習会を開いた。同

安全性の説明などがあつた講習会
天城町の徳山建設で



町発注の平土野橋補修工事(徳山建設・貴島建設施工)で両社が共同開発した「TCユニット方式電気防食工法」が採用されておられ、役場の要望もあつて開催したもの。

講習会には町内建設業者や役場関係者など25人が出席。オリエンタル白石の久松健一氏が橋梁についての基礎に
関し説明したあと、ナカボートテックの宿里伸也氏と大谷俊介氏がコンクリート構造物の劣化と対策、TCユニット電気防食工法についてそれぞれ講義した。出席者らは、安全性が高く工期を大幅短縮できる同工法の説明を真剣な表情で聞き入っていた。

同工事で現場代理人を

務める貴島建設の前田隆治さんは「土木工事における最先端の『化学療法』という印象を持った。構造物も傷付けない工法ということで、今後の進捗状況を期待しながら見守りたい」と述べた。